

稲東だより

稲沢東高等学校生徒会
平成 23 年度第 6 号
平成 24 年 3 月

第 41 回卒業証書授与式を行いました。

3月1日、第41回卒業証書授与式が行われました。191名の卒業生が稲東から新しい道へと巣立って行きました。式は厳粛な雰囲気から始まり、卒業生に卒業証書が授与されました。式の最後の校歌斉唱は卒業生にとって最後の校歌斉唱になることもあり、いつも以上に大きな声で歌っていました。式終了後、「思い出映写」と題し、卒業生の3年間のあゆみをスライドにして鑑賞しました。3年生にとっていろいろな思いを持って通った高校生活をふり返るいい機会になったと思います。卒業生退場では在校生により「思い出の門」が作られ、卒業生の門出を全校生徒で祝うことができました。



在校生代表による「送辞」



「思い出映写」



お別れの門



卒業生による「答辞」

境界なき清掃団

二学期終業式の12月22日に本年度二回目の境界なき清掃団を実施しました。今回は部活動の生徒を中心に70名強の生徒が集まり、学校から奥田駅までの道路、奥田駅周辺と奥田駅駐輪場の清掃を行いました。そんなにゴミはないと通学する生徒たちは言いましたが、いざ清掃を始めるとリアカー一台では足りないくらいのゴミができました。近隣の方から「ありがとう」「御苦労さま」との声がかけられ、有意義な活動になりました。

終了後、先生方のご厚意で豚汁が振る舞われ、みんなでおいしく食べました。



修学旅行に行きました。

1月24日から3泊4日で修学旅行を実施しました。本校の修学旅行は志賀高原でのスキー・スノーボード実習です。多くの生徒がスキー・スノーボードの未経験者です。一日目は朝、学校に集合し出発しました。天気が心配されましたが、スキー場は天気がよく絶好のコンディションでした。最初は、スキーの付け方や歩き方などをインストラクターから教えてもらい、出来るようになってくるとリフトに乗って上から滑る班も出てきました。二日目は少し雪が降っていてとても寒かったです。みんなずいぶんとスキーに慣れどの班もリフトに乗り上から滑ることができるようになりました。二日目が終わったところから「スキー楽しいね」と言う生徒が増えてきました。二日目の夜はみんなでもちつきを行いました。三日目は悪天候でした。スキーが楽しくなってきた生徒もそうでない生徒もあまりテンションが上がらないようでしたが、みんな一生懸命楽しく滑っていました。夜はみんな「バス対抗歌合戦」を行いました。それぞれのバス班で工夫を凝らした出し物をしてくれました。最終日は少しだけスキーを行い、帰宅となりました。4日間お世話になったインストラクターとの別れが寂しく感じられました。



修学旅行を振り返って

石神 聖梨

修学旅行を振り返って、とても楽しく過ごせたと思います。行きのバスの中ではカラオケ大会の練習をしたり、みんなで話したりしました。志賀高原に着いてから、人生で初のスキーを体験しました。最初は怖かったけれどインストラクターの人が優しく、分かりやすく教えてくれたのですぐに滑れるようになってよかったです。それからの研修時間は毎回、楽しく滑れて、リフトにもたくさん乗れてよかったです。でも、途中、熱で出来なくて残念だったです。学年レク活動もめちゃくちゃ盛り上がりから、楽しかったです。もちつき大会では先生たちももちつきをやってくれたし、カラオケ大会ではみんなでたくさん盛り上がってよかったです。みんなのいつもと違う顔とか、学校では見られない性格とかが見れて新鮮でした。学校生活で、騒げない分たくさんばかみたいに騒げてめちゃよい思い出になりました。また、友達もたくさん増えたり、クラスも仲良くなって、最高でした。

修学旅行を振り返って

伊藤 優希

修学旅行で今まで話をしたことがない人たちとも色々話そうになりました。修学旅行の説明で先生がクラス全体ではなく学年全体で楽しみたいと言った時、正直クラスだけの方が楽しいのと思いました。バスの中で違うクラスの人と仕方がなく会話をしていたらいつの間にか自然と会話ができるようになっていました。2年生も終わりに近づいていたので話をしたことがない人とは無理に仲良くならなくてもいいと思っていましたが、修学旅行がいい機会となりとてもよかったです。

スキー実習で初めて話をする人もいました。その人がスキーのアドバイスをしてくれたので嬉しかったです。そして一緒に修学旅行を楽しむことができてよかったです。僕は自分から話しかける事が苦手なのでそのような場で声をかけてもらえてとても嬉しかったです。

修学旅行から帰ってきていつも通りの学校生活の中で新しく仲良くなった人と廊下ですれ違った時話をする事があると、修学旅行へ行ってきたよかったです。

修学旅行を振り返って

菊地 玲奈

修学旅行へ行くことはとても嫌でした。元々体が弱くスキーをすることはできず、寒い環境にいる事も私にとっては難しいからです。行くことになったのは大分ギリギリでした。心配を抱えて出発したバスでは、友達と騒いで歌って5時間があっという間でした。

一日目はせわしなく過ぎて、二日目は見学班でかんじき作り、午後はリフトに乗ったりソリをして遊びました。このころから徐々に楽しく感じ、不安も忘れるほどでした。三日目は下山し、善光寺や人形館へ行き、栗おこわを食べたりと、スキーができない代わりに先生方が私達にたくさんの思い出を与えてくれました。

四日目は体調不良でしたが、ふり返ってみるとクラスの友達、他クラスの友達とさらに絆を深める事ができた四日間でした。泣いたり、笑ったり、落ち込んだり、喜んだり、色々な思い出ができました。『また行きたい』と思える修学旅行は初めてで、とても素敵な修学旅行にしてくれた先生方、友達に感謝したいです。

修学旅行を振り返って

富岡 直生

僕は、修学旅行を通して色々な事を学び、そしてたくさんの思い出を作ることができました。早朝、体育館に集まり、胸をワクワクさせながらバスに乗り出発しました。バスの中から景色を見ていると、雪山が見えました。とてもきれいでいつも愛知県から見える雪山がこんなに近くで見れてとても感動しました。そして、長野の山に入ると白樺の木がいっぱい見えました。

ホテルに着き、人生で初めてのスキーをやりました。最初、靴を履くことがとても難しく、「本当に大丈夫なのかな」と不安に思いました。スキー実習は楽しみな反面、不安な気持ちもありました。いざ滑ってみると意外と簡単だったのでよかったです。

二日目以降はもう経験者に並ぶくらい滑れたと思います。バス対抗歌合戦やもちつきなど楽しいイベントもいっぱいありとても幸せな時間を過ごすことができました。この思い出は僕の人生でとても大切なものになりました。

修学旅行を振り返って

櫻木 智基

僕は、この修学旅行で色々な事を学び、そして習得することができました。

スキーは初めてだったので、とても緊張し、不安でした。でもインストラクターの方がとても親切で安心してやる事ができました。この四日間はとても大変でしたが、自分が想像していたよりもスキーを楽しむことができ、うまくなっていたことに驚きを感じました。僕はこの経験を生かし、今よりもっとできるように練習していきたいと思います。

今回、僕たちが行った志賀高原横手山スキー場は標高2307mで日本一。

一日目はみごとに晴れ、スキー場のリフトから見た景色はとてもきれいでダイヤモンドダストでした。ここまできれいな雪を見たことがなく、雪の結晶が肉眼で見れたのですごく驚きました。日本にこれほどの自然豊かなところがあったとは思いませんでした。

修学旅行でこの場所に行けたことを嬉しく思います。

修学旅行を振り返って

松永 頌伍

1月24日、冷たい風を受けながら僕は修学旅行の一日目を迎えました。バスの中で約5時間ぐらいいました。そして目的地である志賀高原に着くと、周りは真っ白で、木がたくさん並んでいました。早速僕はスノーボードの研修を短時間だけしました。二年ぶりにスノーボードをやりましたが、意外にもうまく滑れて少しホッとしました。夕食のバイキングでは、いろいろな食べ物が出てどれを食べようか迷いました。

二日・三日もそんなような感じで楽しく滑って、食べて、遊びました。日に日にスノーボードも少しずつ滑れるようになっていきました。ちょっとうれしかったかな。

修学旅行四日間、インストラクターの方々やホテルの従業員の方々にもお世話になって事故もなく帰ってこれてよかったです。

3泊4日という長くて短い間でしたけれども、よい経験や思い出ができてとてもよかったです。

球技大会を行いました。

3月7日、球技大会を行いました。実施種目は男子はサッカー、女子はバレーボールでした。5日に実施するはずだったのですが、雨のため順延になり2日遅れて実施できました。前日まで雨が降っていたので実施できるか不安でしたが、サッカー部の部員が朝早くからグラウンド整備をしてくれたおかげで何とか実施できました。

昨年度まで女子のバレーボールは、一年生外のバレーコートで実施していましたが、本年度は一・二年生対抗で実施することになり、すべて体育館の中で実施されました。女子は、一年生が強く、そして元気がありとても盛り上がる球技大会になりました。男子はドロドロになりながらも元気よくボールを追いかけ、とてもいい球技大会になりました。

結果は次の通りです。

1年男子サッカー

優勝 1組
第2位 3組
第3位 4組

2年男子サッカー

優勝 6組B
第2位 2組A
第3位 5組B

女子バレーボール

優勝 1-3A
第2位 1-7A
第3位 2-5B



タイムカプセルを掘り起こしました。

2000年3月に卒業したみんなの先輩が、先日タイムカプセルを掘り起こしに来ました。卒業の時、仲間5人で思い出の品を缶に入れて「12年後に掘り起こそう」と決めていたそうです。最初、どのあたりに埋めたのかよくわからず、迷っていました。埋めた時は埋める事ばかりに気を取られ、スコップすら用意しなかったそうです。ゴミ捨て場にあったカップラーメンの容器で掘っていたそうです。「そんなに深くまで埋めなかった」と言っていたのですが、20cmぐらい掘り起こしたところから出てきました。

